

1. 略歴

1987年3月	早稲田大学教育学部社会科社会科学専修卒業
1987年4月	早稲田大学大学院政治学研究科修士課程政治学専攻入学
1990年3月	早稲田大学大学院政治学研究科修士課程政治学専攻修了(政治学)
1990年4月	早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程政治学専攻入学
1993年5月	早稲田大学人間科学部助手(1996年3月まで)
1996年3月	早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程政治学専攻単位取得満期退学
1998年4月	昭和音楽大学音楽学部助手
2000年4月	静岡文化芸術大学文化政策学部講師
2001年1月	博士(人間科学)
2004年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授(職名変更)

2. 主な研究活動

a 専門分野

文化資源学(文化政策学)

b 研究課題

文化を支える諸制度、それと反対のベクトルである文化の発展を阻害する制度について関心をもってきた。研究の中心を法制度においてきたが、最近では国や自治体の文化政策の動向に対応して、文化にとってよりよい政策の企画、立案、執行のあり方について考えている。とくに行政改革が現実に行われ、市町村合併の推進及び2003年に地方自治法改定で施行された指定管理者制度が導入される状況の中で、公立文化施設(美術館、文化ホール等)の望ましい運営方法とそれを管理する文化政策のあり方を研究の対象としてきた。

他方、芸術を支える制度としての劇場についても関心を持っており、この数年はドイツの劇場のあり方をめぐる動向、それを取り巻く文化政策、環境について関心をもって研究している。とはいえ、そもそも「制度」そのものについて疑問をもってのことから、あるべき「制度」に固執しているわけではない。むしろ「制度」を超えた活動、とくにドイツの社会文化活動とそれを巡る政策に大いなる関心を持っている。

c 概要と自己評価

自治体文化政策の現場において、条例制定(2006年度)、計画策定(2007年度、2008年度)、そして事業展開の基盤づくり(2009年度～2011年度)に携わってきているが、2012年からは長野県大町市において職員研修や文化資源活用ビジョンの策定に関わり、2015年度をもって策定を終えた。この策定を契機に、人材育成事業にも継続して携わりながら、地方自治体の文化行政の現場に関与しながら研究を継続している。その成果として報告書を作成したが、時間がかかってもじっくりと市民主体の文化政策を目指して市民とともに学びながら考え続けていくこと、そして自治体で文化政策に関わる人たちににとって有益となる基本的な原理と方法を明らかにすることであり、その一部を明らかにすることができたと考えている。このような研究の場に、学生も参加させることによって、多くの学びを提供できたと考えている。

またこれらの成果も踏まえて、海外の研究者と共同して「Cultural Policies in East Asia-Dynamics between the State, Arts and Creative Industries」において、日本の地方自治体の文化政策の状況を明らかにした共著を記せた。東アジアの文化政策研究者との交流を活性化しており、それに参加できたのは大変有意義であり、現在もこれらの関係は継続している。また、2014年には、研究室を巣立った元学生たちと一緒に、ドイツ、ヒルデスハイム大学で開催された International Cultural Policy Research において、日本の文化政策展開における市民協働の課題を取り扱ったセッションを行い、学会の総括において高い評価を得た。

d 主要業績

(1) 著書

共著、Mari Kobayashi、『Cultural Policies in East Asia-Dynamics between the State, Arts and Creative Industries』、2014.9

(2) 学会発表

国際、Mari Kobayashi, Miho Nakamura, Ayumi Takata, Yukiko Nagashima、「Citizen's participation of decision making process in local cultural policy」、International Conference of Cultural Policy Research、2014.9.11

特別講演「地域の潜在力を引き出す文化の力」、韓国東北亜学会・慶山学会、2015年9月3日、Kyungli University、大邱

(3) 予稿・会議録

国際会議、Mari Kobayashi, Miho Nakamura, Ayumi Takata, Yukiko Nagashima、「Citizen's Participation in division-making process of local cultural policy」、International Conference of Cultural Policy Research、2014.9.11

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、(社) 地方行財政調査会、「地方の潜在能力を引き出す文化の力と文化政策の担い手」、2014年7月
基調講演、栃木県公立文化施設協議会平成26年度第2回研修会、基調講演「文化施設と地域の関わり」2015年2月
27日、栃木県総合文化センター

職員対象講演会、長野県須坂市・須坂市文化振興事業団、「これからの地域と文化会館のあり方」、2015年4月20日、
須坂市文化会館メセナホール

岐阜県関市文化振興基調講演会、「芸術文化による地域づくりと文化振興の役割」、2015年7月26日、わかくさ・プ
ラザ学習情報館多目的ホール

長崎県対馬市地域おこし協力隊活動支援アドバイザー派遣事業・講演会「地方自治体における文化行政と公立文化
施設」、2015年9月14日、対馬市交流センター

(2) 行政

自治体、武蔵野市、立案、第五期長期計画・調整計画策定委員、2014.8～

省庁、文化庁、芸術選奨選考審査員、2014.10～

長野県大町市文化資源活用ビジョン策定委員会アドバイザー（2014、2015年）

東京都大田区「大田区の文化施設の在り方検討委員会」委員長（2014年）

東京都大田区区民プラザ等文化施設指定管理者候補者審査会委員（2014、2015年）

東京都小金井市民交流センター運営協議会委員長（2012年～）

文化庁、劇場・音楽堂等活性化事業協力者会議委員（2015年）